

検出. 第34回日本免疫学会総会・学術集会, 2004, 1  
2, 札幌.

51) 本多 立, 時光善温, 近藤佐千子, 岸 裕幸,  
村口 篤: CD19共刺激を用いた、抗原特異的単  
一B細胞の高感度検出. 第34回日本免疫学会総会・  
学術集会, 2004, 12, 札幌.

52) 小澤龍彦, 近藤佐千子, 本多 立, 時光善温,  
田尻和人, 門脇慎一, 本木和美, 岸 裕幸,  
村口 篤: 1個のB細胞から抗体遺伝子を効率よ  
く増幅する方法の開発. 第27回日本分子生物学会  
年会, 2004, 12, 神戸.

## 皮 膚 科 学

### Dermatology

教 授	諸橋 正昭	Masaaki Morohashi
助 教 授	檜垣 修一	Shuichi Higaki
講 師	豊田 雅彦	Masahiko Toyoda
講 師	北川 太郎	Taro Kitagawa
助 手	日野 孝之	Takayuki Hino
助 手	中村 元一	Motokazu Nakamura
助 手	牧野 輝彦	Teruhiko Makino
助 手	中田 芳	Kaori Nakada
助 手	野本 浩生	Hiroo Nomoto
前任技術員	松永 憲治	Kenji Matsunaga

### ◆ 著 書

- 1) 諸橋正昭: 皮膚付属器疾患. 「標準皮膚科学第  
7版」西川武二, 瀧川雅浩, 富田 靖編, 262-279,  
医学書院, 東京, 2004.
- 2) 諸橋正昭: 酒皰様皮膚炎, 口囲皮膚炎. 「今日の  
治療指針2004」山口 徹, 北原光夫編, 842-843,  
医学書院, 東京, 2004.
- 3) 檜垣修一: 癬, 癰. 「皮膚科最新の治療2005-2006」  
瀧川雅浩, 渡辺晋一編, 南江堂, 東京, 143-144, 2004.
- 4) 豊田雅彦: 皮膚の神経線維の分布, 機能と病態  
への関与. 「最新皮膚科学大系19, 皮膚の発生・  
機能と病態」玉置邦彦他編, 233-234, 中山書店,  
東京, 2004.
- 5) 豊田雅彦, 丸山友裕, 諸橋正昭: Pili torti syn-  
dromes. 「最新皮膚科学大系・特別巻2・皮膚科  
症候群」玉置邦彦他編, 274-275, 中山書店, 東京,  
2004.
- 6) 豊田雅彦: Wells' syndrome. 「最新皮膚科学  
大系・特別巻2・皮膚科症候群」玉置邦彦他編,  
377-378, 中山書店, 東京, 2004.
- 7) 豊田雅彦: 皮膚掻痒症. 「皮膚疾患最新の治療  
2005-2006」瀧川雅浩, 渡辺晋一編. 南江堂. 東京.  
33-34, 2004.

### ◆ 原 著

- 1) Higaki S., Kitagawa T., Morohashi M.,  
and Yamagishi T.: Susceptibility of *Staphy-*  
*lococcus* spp. to anti-infective agents during  
the past 7 years. Int. J. Antimicrob. Ag.,  
24 (15):524-525, 2004.
- 2) Higaki S., Nakamura M., Morohashi M.,  
and Yamagishi T.: *Propionibacterium acnes*  
biotypes and susceptibility to minocycline  
and Keigai-rengyo-to. Int. J. Dermatol.,

43:103-107, 2004.

- 3) Higaki S., Takashima H., Makino T., Morohashi M., and Yamagishi T.: Piperacillin and gentamicin suppress *Pseudomonas aeruginosa* pyoderma acuta complicated with diabetes mellitus. *Int. J. Antimicrob. Ag.*, 24 (5):519-520, 2004.
- 4) Nakamura M., Kato A., Tanaka D., Gyobu Y., Higaki S., and Yamagishi T.: PCR identification of the plasmid-borne enterotoxin gene (*cpe*) in *Clostridium perfringens* strains isolated from food poisoning outbreaks. *Int. J. Med. Microbiol.*, 294:261-265, 2004.
- 5) Nakada K., Toyoda M., Nakamura M. and Morohashi M.: Ultrastructural characterization of the distribution of melanin and epidermal macrophages in photodamaged skin. *Med. Electron Microsc.*, 37:177-187, 2004.
- 6) Shirai Y., Funada H., Takizawa H., Seki T., Morohashi M., and Kamimura K.: Landing preference of aedes albopictus (diptera: culicidae) on human skin among ABO blood groups, secretors or nonsecretors, and ABH antigens. *J. Med. Entomol.*, 41 (4):796-799, 2004.
- 7) 日野孝之, 籠浦正順, 諸橋正昭: Poroid hidradenomaの1例. *皮膚臨床*, 46 (3):371-373, 2004.
- 8) 日野孝之, 常田美佐子, 諸橋正昭: Aneurysmal fibrous histiocytoma of the skinの1例. *Skin Cancer*, 19 (2):215-218, 2004.
- 9) 高島秀樹, 岡部素典, 吉田淑子, 高屋憲一, 豊田雅彦, 諸橋正昭: イオン顕微鏡. *皮膚病診療*, 26 (1):89-95, 2004.
- 10) 牧野輝彦, 横井有希子, 佐藤里美, 横井秀樹, 諸橋正昭: 経皮水分喪失量 (TEWL) の簡易測定法の検討. *新薬と臨床*, 53 (4):153-158, 2004.
- 11) 中田 芳, 豊田雅彦, 中村元一, 籠浦正順, 諸橋正昭, 足立雄一: 難治性円形脱毛症の姉妹例. *日皮会誌*, 114 (11):1793-1797, 2004.
- 12) 乗杉 理, 中田 芳, 日野孝之, 高島秀樹, 豊田雅彦, 籠浦正順, 諸橋正昭: 背部の紅色結節. *日本皮膚病理組織学会誌*19 (2):26-29, 2003.

#### ◆ 症例報告

- 1) 野本浩生, 諸橋正昭: 腎細胞癌の皮膚転移の一例. *皮膚の科学*, 3 (3):302-305, 2004.
- 2) 中田 芳, 豊田雅彦, 中村元一, 籠浦正順, 諸

橋正昭: 前頸部発症の皮膚腺病. *皮膚臨床*, 46: 1213-1216, 2004.

#### ◆ 総 説

- 1) 豊田雅彦: かゆみの皮膚機序. *総合臨床* 53 (5): 1629-1636, 2004.
- 2) 豊田雅彦: Hypereosinophilic syndrome. *MB Derma* 94:52-59, 2004.
- 3) 日野孝之: 円形脱毛症の鑑別と治療. *日経メディカル*, 434:117-120, 2004.
- 4) 日野孝之, 諸橋正昭: 皮膚の脂質代謝を調整する漢方生薬の検討. *FRAGRANCE JOURNAL*, 32 (3):26-30, 2004.
- 5) 豊田雅彦: アトピー性皮膚炎の病態とかゆみ. *富山市医師会報* 403:16-21, 2004.
- 6) 豊田雅彦: アトピー性皮膚炎のかゆみ対策. *日医雑誌* 132 (13):1523-1527, 2004.

#### ◆ 学会報告

- 1) Toyoda M., Nakamura M., Nakada K., and Morohashi M.: Characterization of the melanin content and epidermal macrophages in photoaging. 8th Asia-Pacific Conference on Electron Microscopy, 2004, 6, Kanazawa.
- 2) Toyoda M., Nakamura M., Nakada K., and Morohashi M.: Cutaneous neurogenic factors in photoaging. 8th Asia-Pacific Conference on Electron Microscopy, 2004, 6, Kanazawa.
- 3) Nakamura M., Toyoda M., Nakada K., and Morohashi M.: Human mast cell synthesize and stores substance P. 8th Asia-Pacific Conference on Electron Microscopy, 2004, 6, Kanazawa.
- 4) Nakada K., Toyoda M., Nakamura M. and Morohashi M.: Ultrastructural characterization of microvasculature in photoaging, 8th Asia-Pacific Conference on Electron Microscopy, 2004, 6, Kanazawa.
- 5) Higaki S., Makino T., Kitagawa T., and Morohashi M.: Surveillance of susceptibility of various clinical isolates from skin materials to antimicrobial agents. 29th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology, 2004, 4, Kyoto, Japan.
- 6) 豊田雅彦, 諸橋正昭: 皮膚間葉系腫瘍の特徴的電顕所見. 第36回日本臨床電子顕微鏡学会総会ならびに学術集会 (指定演題). 2004. 11. 熊本.
- 7) 豊田雅彦: 皮膚神経系因子を介した痒みの解明

- (ランチョンセミナー). 第103回日本皮膚科学会学術大会, 2004, 4, 京都.
- 8) 豊田雅彦: かゆみとマスト細胞 (ランチョンセミナー). 第103回日本皮膚科学会学術大会, 2004, 4, 京都.
  - 9) 日野孝之, 諸橋正昭: 難治性円形脱毛症に対する副腎皮質ホルモン剤内服療法の試み. 第103回日本皮膚科学会学術大会, 2004, 4, 京都.
  - 10) 中村元一, 豊田雅彦, 中田 芳, 諸橋正昭: 痒痒性皮膚疾患に対するVTPSを用いた痒みの評価・検討. 第103回日本皮膚科学会学術大会, 2004, 4, 京都.
  - 11) 中田 芳, 豊田雅彦, 中村元一, 諸橋正昭: タクロリムス軟膏の体幹・四肢への有効な使用法に関する検討. 第103回日本皮膚科学会学術大会, 2004, 4, 京都.
  - 12) 牧野輝彦, 高石樹朗, 諸橋正昭, 許 南浩: Profilaggrin 類似分子hornerinのヒトホモログの同定と発現の検討. 第29回日本研究皮膚科学会学術大会, 2004, 4, 京都.
  - 13) 諸橋正昭: アトピー性皮膚炎と和漢薬 (会頭講演). 第34回日本皮膚アレルギー学会学術大会, 2004, 7, 富山.
  - 14) 豊田雅彦: 痒みと神経ペプチド—序論 (オーガナイザー: シンポジウム; 痒みと神経ペプチド 2004), 第34回日本皮膚アレルギー学会学術大会, 2004, 7, 富山.
  - 15) 豊田雅彦, 中田 芳, 中村元一, 諸橋正昭: 好酸球および血管内皮細胞の接着因子に及ぼすマクロライドの作用. 第34回日本皮膚アレルギー学会学術大会, 2004, 7, 富山.
  - 16) 豊田雅彦, 野本浩生, 中田 芳, 中村元一, 諸橋正昭: 皮膚神経成長因子の発現に及ぼすタクロリムス軟膏の影響. 第34回日本皮膚アレルギー学会学術大会, 2004, 7, 富山.
  - 17) 中村元一, 豊田雅彦, 中田 芳, 諸橋正昭: ヒト末梢血好酸球における神経成長因子の局在. 第34回日本皮膚アレルギー学会学術大会, 2004, 7, 富山.
  - 18) 中田 芳, 豊田雅彦, 中村元一, 諸橋正昭: 光化学療法による好酸球由来神経成長因子の産生・遊離調節作用. 第34回日本皮膚アレルギー学会学術大会, 2004, 7, 富山.
  - 19) 古市 恵, 松浦知子, 牧野輝彦, 高島秀樹, 諸橋正昭: 血疱を伴ったアナフィラクトイド紫斑の1例. 第34回日本皮膚アレルギー学会学術大会, 2004, 7, 富山.
  - 20) 豊田雅彦: アトピー性皮膚炎のかゆみ: いかにより制御するか (ランチョンセミナー). 第28回日本小児皮膚科学会学術大会, 2004, 5, 郡山.
  - 21) 乗杉 理, 竹上與志昌, 中田 芳, 中村元一, 豊田雅彦, 諸橋正昭: 小児に発生したliposarcoma. 第28回日本小児皮膚科学会学術大会, 2004, 5, 郡山.
  - 22) 中村元一, 豊田雅彦, 中田 芳, 諸橋正昭: 小児期に発症したGVHD. 第28回小児皮膚科学会学術大会, 2004, 5, 福島.
  - 23) 中田 芳, 松浦知子, 豊田雅彦, 中村元一, 諸橋正昭: 海綿状血管腫の多発例. 第28回日本小児皮膚科学会学術大会, 2004, 5, 郡山.
  - 24) 古市 恵, 石田和加, 野本浩生, 北川太郎: 非イオン性ヨード造影剤イオパミドールによる薬疹の1例. 第29回日本接触皮膚炎学会学術大会, 2004, 11, 名古屋.
  - 25) 檜垣修一, 諸橋正昭: 抗菌性伝統医薬や抗菌薬のminor organisms に対するinhibitory effect. 第21回和漢医薬学会学術大会, 2004, 8, 富山.
  - 26) 豊本貴嗣, 檜垣修一, 諸橋正昭: 痤瘡患者自己覚所見に対する各種薬剤の治療効果. 第55回日本東洋医学会学術大会, 2004, 6, 横浜.
  - 27) 豊田雅彦: アトピー性皮膚炎における非アレルギー性のかゆみ (シンポジウム: アトピー性皮膚炎はアレルギー性疾患か?). 第16回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2004, 5, 前橋.
  - 28) 諸橋正昭: アトピー性皮膚炎の漢方療法とEBM (ランチョンセミナー). 第55回日本皮膚科学会学術大会, 2004, 6, 横浜.
  - 29) 豊田雅彦, 中田 芳, 中村元一, 諸橋正昭: アトピー性皮膚炎患者尿中ニューロトロフィン値の特徴解析と塩酸エピナスチン投与による影響. 第54回日本アレルギー学会総会, 2004, 11, 横浜.
  - 30) 中田 芳, 豊田雅彦, 中村元一, 諸橋正昭: 光化学療法による好酸球由来神経成長因子の産生・遊離調節作用. 第54回日本アレルギー学会総会, 2004, 11, 横浜.
  - 31) 中村元一, 豊田雅彦, 中田 芳, 諸橋正昭: 塩酸エピナスチンはアトピー性皮膚炎患者末梢血中単核球からのIL-10産生を亢進させる. 第54回日本アレルギー学会総会, 2004, 11, 横浜.
  - 32) 豊田雅彦: 乾癬のかゆみのメカニズム: 起痒因子と治療マーカーを求めて (イブニングセミナー). 第19回日本乾癬学会学術大会, 2004, 9, 山形.
  - 33) 中村元一, 豊田雅彦, 中田 芳, 諸橋正昭: 尋常性乾癬に対する治療内容別の痒みの性質の変化.

- 第19回日本乾癬学会学術大会, 2004, 9, 山形.
- 34) 豊田雅彦, 諸橋正昭: 痤瘡のストレス性増悪機序の解明へ向けて(ランチョンセミナー). 第20回日本臨床皮膚科医学会学術大会, 2004, 5, 東京.
- 35) 檜垣修一, 高島秀樹, 牧野輝彦: 糖尿病を伴った緑膿菌性急性膿皮症の1例. 第78回日本感染症学会学術大会, 2004, 4, 東京.
- 36) 檜垣修一: 皮膚科領域 Staphylococci 臨床分離株の各種薬剤に対する感受性サーベイランス. 第15回日本臨床微生物学会学術大会, 2004, 1, つくば.
- 37) 檜垣修一: 皮膚科領域分離菌, 薬剤感受性及び臨床的意義. 第77回日本細菌学会学術大会, 2004, 4, 大阪.
- 38) 豊田雅彦, 中田 芳, 中村元一, 諸橋正昭: アトピー性皮膚炎に対する黄連解毒湯の臨床効果: 随証投与の有用性を含めて. 第23回漢方免疫アレルギー研究会学術集会, 2004, 6, 東京.
- 39) 諸橋正昭: 痤瘡の漢方療法(教育講演). 日本臨床皮膚科医学会三支部合同学術集会, 2004, 3, 東京.
- 40) 野本浩生, 牧野輝彦, 諸橋正昭: 後頭部に生じた黒色病変. 第68回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 2004, 10, 新潟.
- 41) 豊田雅彦: 好酸球浸潤を特徴とする皮膚疾患に対する経口抗菌薬の可能性について(イブニングセミナー). 第63回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 2004, 10, 新潟.
- 42) 北川太郎, 野本浩生, 古市 恵, 石田和加, 諸橋正昭, 高橋博之, 石澤 伸, 常山幸一: 陰部皮膚腫瘍. 第55回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2004, 9, 金沢.
- 43) 常田美佐子, 日野孝之, 豊田雅彦, 諸橋正昭: アトピー性皮膚炎患者に対するアンケート調査について. 第55回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2004, 9, 金沢.
- 44) 檜垣修一, 日野孝之, 諸橋正昭: 柴胡清肝湯や三黄瀉心湯の皮膚科領域少数派菌種に対する抑制効果. 第7回日本補完代替医療学会, 2004, 10, 金沢.
- 45) 日野孝之, 檜垣修一, 諸橋正昭: 当帰エキスの表皮角化細胞に対する脂質合成能についての検討. 第7回日本補完代替医療学会, 2004, 10, 金沢.
- 46) 豊田雅彦, 中村元一, 中田 芳, 諸橋正昭: 種々の薬剤・理学療法の止痒機序に関する新知見: 神経ペプチドおよび神経成長因子受容体に及ぼす作用を中心として(指定演題). 第14回国際痒みシンポジウム, 2004, 9, 東京.
- 47) 豊田雅彦, 中村元一, 中田 芳, 諸橋正昭: 14員環マクロライドによる好酸球上接着分子の発現調節. 第25回富山免疫アレルギー研究会, 2004, 2, 富山.
- 48) 豊田雅彦, 中村元一, 中田 芳, 諸橋正昭: マクロライドと好酸球および血管内皮細胞に発現する接着分子. 第2回皮膚マクロライド研究会, 2004, 4, 東京.
- 49) 野本浩生: 腎細胞癌の皮膚転移. 第401回日本皮膚科学会北陸地方会, 2004, 2, 金沢.
- 50) 乗杉 理, 竹上與志昌, 中田 芳, 中村元一, 豊田雅彦: 小児に発生した脂肪肉腫の2例. 第401回日本皮膚科学会北陸地方会, 2004, 2, 金沢.
- 51) 古市 恵, 野本浩生, 北川太郎, 亀山智樹, 井上 博: 非イオン性ヨード造影剤アレルギーの1例. 第402回日本皮膚科学会北陸地方会, 2004, 6, 金沢.
- 52) 清水教子, 常田美佐子, 牧野輝彦, 日野孝之, 諸橋正昭: 顔面に生じた巨大な Posttraumatic epidermal inclusion cystの1例. 第403回日本皮膚科学会北陸地方会, 2004, 10, 金沢.
- 53) 牧野輝彦, 日野孝之, 篠田晃一郎: シェーグレン症候群に合併したアナフィラクトイド紫斑. 第404回日本皮膚科学会北陸地方会, 2004, 12, 金沢.
- 54) 常田美佐子, 清水教子, 牧野輝彦, 日野孝之, 中村元一, 北川太郎, 泉 徳子, 斎藤 滋, 豊本貴嗣: 妊娠性疱疹の一例. 第404回日本皮膚科学会北陸地方会, 2004, 12, 金沢.
- 55) 松浦知子: 食道癌が先行した皮膚筋炎の一例. 第75回富山皮膚病態治療研究会, 2004, 3, 富山.
- 56) 古市 恵: 皮膚アレルギー性血管炎の一例. 第75回富山皮膚病態治療研究会, 2004, 3, 富山.
- 57) 常田美佐子: アトピー性皮膚炎患者に対するアンケート調査について. 第76回富山皮膚病態治療研究会, 2004, 4, 富山.
- 58) 浅野幸恵: Churg-Strauss 症候群の一例. 第76回富山皮膚病態治療研究会, 2004, 4, 富山.
- 59) 乗杉 理: 特発性分節型無汗症. 第77回富山皮膚病態治療研究会, 2004, 5, 富山.
- 60) 野本浩生: 皮膚B細胞リンパ腫. 第77回富山皮膚病態治療研究会, 2004, 5, 富山.
- 61) 石田和加: ラジオ波焼灼療法(RFA)により生じた皮膚損傷. 第78回富山皮膚病態治療研究会, 2004, 7, 富山.
- 62) 清水教子: 急性感染性蕁麻疹と思われた1例. 第78回富山皮膚病態治療研究会, 2004, 7, 富山.

- 63) 野本浩生：IgA- $\kappa$ 型多発性骨髄腫に合併した紫斑性病変。第79回富山皮膚病態治療研究会，2004，9，富山。
- 64) 古市 恵，石田和加，野本浩生，北川太郎：腎細胞癌の皮膚転移。第79回富山皮膚病態治療研究会，2004，10，富山。
- 65) 日野孝之：当院脱毛症外来における円形脱毛症の治療。第80回富山皮膚病態治療研究会，2004，9，富山。
- 66) 中村元一：かゆみの評価法。第80回富山皮膚病態治療研究会，2004，10，富山。
- 67) 日野孝之：当院脱毛症外来における円形脱毛症の治療。第81回富山皮膚病態治療研究会，2004，12，富山。
- ◆ その他
- 1) Toyoda M., Nakamura M., Nakada K., and Morohashi M.: Immunolocalization of neurokinin receptor-1 on eosinophils in human peripheral blood. *J. Dermatol.*, 31(4):358, 2004.
- 2) 諸橋正昭：皮膚科と東洋医学治療。第10回東京皮膚臨床勉強会，2004，2，東京。
- 3) 諸橋正昭：アトピー性皮膚炎の漢方治療とEBM。西宮市・尼崎市・芦屋市・宝塚市皮膚科医会学術講演会，2004，2，宝塚市。
- 4) 豊田雅彦：痒痒性皮膚疾患の臨床：発症機序と止痒対策。第3回皮膚免疫アレルギーを語る会，2004，2，熊本。
- 5) 豊田雅彦：アトピー性皮膚炎の痒みのメカニズムに関して。神奈川県皮膚科医会第116回例会，2004，12，神奈川。
- 6) 豊田雅彦：アレルギー性皮膚疾患に対する漢方薬の奏功機序に関する基礎的・定量的解析（安江賞受賞講演）。第29回東海皮膚科漢方研究会，2004，9，名古屋。
- 7) 豊田雅彦：皮膚神経系ネットワークと表皮細胞のクロストーク。（招請講演）第6回免疫薬理研究会，2004，10，岐阜。
- 8) 豊田雅彦：プロトピック軟膏による痒みの抑制－基礎から臨床まで－。第2回京都小児皮膚疾患研究会，2004，10，京都。
- 9) 豊田雅彦：かゆみを起こす皮膚疾患－基礎と臨床－。刈谷地区皮膚科医会講演会，2004，2，愛知。
- 10) 豊田雅彦：アトピー性皮膚炎との上手なつきあい方。アレルギー性疾患講演会，2004，2，富山。
- 11) 豊田雅彦：掻痒性皮膚疾患；いかに制御するか。滑川市医師会学術講演会，2004，7，富山。
- 12) 豊田雅彦：アトピー性皮膚疾患の基本的な知識と夏のスキンケア。アレルギー・アトピー性疾患相談会（1），富山県中部厚生センター，2004，7，富山。
- 13) 豊田雅彦：アトピー性皮膚炎のかゆみ対策（医学講座）。かゆみとその対策，ラジオNIKKEI，2004，9。
- 14) 豊田雅彦：免疫とアトピー：アトピー性皮膚炎はなぜ起こる？平成16年度富山医科薬科大学公開講座「免疫：からだを守る？病気を起こす？」2004，9，富山。
- 15) 豊田雅彦：痤瘡のストレス性増悪機序の解明に向けて。第20回日本臨床皮膚科医学学会総会・臨床学術大会 ランチョンセミナー1 記録集。「痤瘡治療の新たな取り組み」：1-8，2004。
- 16) 豊田雅彦：アトピー疾患における痒み。マルホ皮膚科セミナー放送内容集 171：15-19，2004。
- 17) 豊田雅彦：皮膚アレルギーとかゆみ。第21回アレルギー疾患談話会，2004，11，福山。
- 18) 豊田雅彦：乾癬の痒みに迫る；起痒因子と治療効果の客観的指標を求めて。Nikkei Medical，10：96-98，2004。
- 19) 豊田雅彦：アトピー性皮膚疾患の基本的な知識と冬のスキンケア。アレルギー・アトピー性疾患相談会（2），富山中部厚生センター，2004，11，富山。
- 20) 豊田雅彦：かゆみについて。皮膚の日講演会，2004，11，富山。
- 21) 北川太郎：爪について。大沢野社会福祉協議会，2004，6，富山。